

SSKP
はばたけだより
vol.120

1年ぶりの開催!
ありがとうございました

おおぞら会 大バザール



おおぞら会後援会主催の「おおぞら会大バザール」。地域の皆様には「はばたけ大バザール」として長年親しまれてきましたが、1年お休みをいただき、あらたに法人を支えるバザーとして昨年9月開催することができました。

ご来場いただいた皆様、バザー品を提供くださった地域の皆様、会場を提供してくださった三鷹市立第二小学校様、ほのぼのネット様、ベーカリーぱぱん様、Anten-Do様など物品提供くださった各団体様、ボランティアの皆様、ご協力いただきましたすべての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



社会福祉法人おおぞら会

新年、明けましておめでとうございます



この年も、皆様のご多幸を、心よりお祈り申し上げます

社会福祉法人おおぞら会 理事長 西原雄次郎

昨年の夏の終わり頃、おもむく食堂のカウンターに座って美味しいうどんを食べていたら、利用者さんが突然側に来られて「どうしたの？ 疲れているの？」と言われました。私は「もう66歳ですしねえ…」と言いましたら、「そんなこと言っちゃだめだよ！ いつも未来に向かって頑張らなきゃ！」と言われました。私の様子がいかにも疲れているように見えたのかも知れませんが、私を心配して下さる利用者さんの思いやりの言葉に、とても励まされました。知的障がいという障がいの故に、言語表現能力に多くのハンディのある皆さんですが、私の様子を良く観察して私を元気づけて下さいました。表現方法は様々ですが、それぞれの仕方で、多くの気遣いをして下さる場面を体験させてもらっています。知的障がいのある人達との関わりは、大変なことも多くありますが、この様に嬉しい気分させられることも多々あります。

昨年10月1日から「障害者虐待防止法」が施行されました。この法律は、雇用主、事業者、養護者のそれぞれに知的障がい者に適切な対応をすることを求めています。私たちも事業者の一員としてこの法律の趣旨を尊重し、他の模範となれるよう努力を重ねたいと思います。

おおぞら会は、「アクティビティセンターはばたけ」から始まり、「つなぐ仲間の家」「さくらハイツ」「ショートステイさくら」「サポートネットあすは」「あすはキッズ」「工房 時」「おもむく食堂」「のざきの家」と、一つ一つは大きくはありませんが、利用者の皆さんとそこご家族の必要に応えようと事業を展開して来ました。障がいの重い方々が利用できるグループホームの開設が次の課題となっています。

さて、これらの事業は、もちろん利用者の皆さんの頑張り、職員の皆さんの献身的な労働と、家族会員、後援会員、千人会員、理事・評議員、第三者委員等々として当法人に連なって下さっている皆様の物心両面のお支えによって、かろうじて事業運営を続けているのが現状です。立ち止まると沈没しそうな危機感を持ちながら、今年は何とか経営が一息つける段階に持って行けるよう、知恵を出し合いたいと思います。

皆様のお支えなしに、おおぞら会の安定した運営はあり得ません。
今年も、さらなるご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



小規模多機能型居宅介護

野ざきの家



皆様お健やかに佳き新春をお迎いの事とお慶び申し上げます。

旧年中は大変お世話になり、多くの励ましやお支えをいただきましたこと心より感謝申し上げます。一昨年夏に開設した野ざきの家にとっては、この一年間は新しい出来事の連続でした。その都度立ち止まり、悩み、試行錯誤することの繰り返しではありましたが、「利用者さんやご家族にとって、今一番必要なことは何だろう？ 私たちに出来ることは何だろう？」ということとを常に考え、職員一丸となってより良い支援を目指して頑張っていました。皆様のお力添えと利用者の方、ご家族の方のご協力のおかげを持ちまして、振り返れば利用者の皆様の笑顔に溢れた一年間だったと思います。

新年の初めは深大寺への初詣、春はお花見、夏は夕涼み会と夏祭り、秋は秋の味覚を楽しむ食事会や遠足、年末はクリスマス会と、楽しい行事もたくさんありました。体力や気力が少しずつ低下し室内に閉じこもりがちの高齢者の方にとって、野ざきを家の外出や行事は、季節感を感じたり、社会とのつながりを取り戻したり、昔懐かしい思い出が蘇ったりする大切な機会となったように感じます。そして、楽しい体験を共有することによって、利用者の皆様同士のつながり、職員とのつながり、ご家族とのつながり、工房時の利用者とのつながりも強くなっていきました。人は必ず誰かとつながって生きていくものです。そのつながりがお互いの生きる力となり、支え合い認め合うことにもなり、ひいては子どもからお年寄りまで、障がいのある人もない人も共に生きる、そんな社会を作っていくことになるのではないのでしょうか。私たちはそんな人と人との絆を紡いでいくことをこれからも大切にしていきたいと思っております。

小規模多機能型居宅介護という事業は、まだ始まったばかりで、制度上も様々な課題を抱えています。それでも、他の介護保険サービスでは提供できない、きめ細やかな支援、柔軟な取り組みを行って、高齢者の方、特に認知症の方とご家族の地域で生活を支えることができる、かけがえのない事業だと感じています。本年も、小規模多機能型居宅介護ならではの、野ざきの家ならではの、家庭的で暖かい、生きる支えとなるような支援を目指して参りたいと思っております。

皆様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(管理者 西田さおり)



2012年4月お花見 満開の桜の下で乾杯！

利用のご相談お受けいたします



野ざきの家では、在宅介護サービスを必要とする高齢者の方のご利用相談をお受けしております。ご利用の条件等、詳しいお問い合わせはお電話でどうぞ。

TEL 0422-30-5571 (法人本部)





～ 工房時 ニュース ～

はじめての旅行へ！

11月の29～30日に、工房 時で初の行事旅行に出かけました。伊豆半島・一泊二日の旅...開設初年度はなかった旅行に、皆さんの期待がとても大きいのを感じました。

さて、三鷹市福祉バス「ふれあい号」に乗って旅のスタート。初日は伊東の海を眺めながらの昼食。海鮮丼に乗っていたのは、なんとマンボウの腸！ 海沿いの地域ならではの珍味ですね。

アニマルキングダムで動物たちとふれあいの後に熱川ハイツ着。宿では、露天風呂ありの大きなお風呂と大宴会のお楽しみ。ピンゴ大会にカラオケと大盛り上がりでした。



～ 伊豆の海に臨む 工房時の面々 ～



～ 宴会で着物を披露！ ～

二日目は、東京ラスクの伊豆工場へ。こちらは併設する工場がガラス張りになっているので、「食品製造を行う我々も、衛生管理を参考にしよう！」という目的もあったのですが、やはりおみやげ購入がメインになってしまったかも...。昼食は、伊豆ワールド(ハワイアンズ)でバイキング。豊富な食材を前に、つい食べすぎてしまう人が多かったかな？

いつもは仕事がメインの工房 時。楽しい行事で見える皆さんの笑顔は、普段とはまた違ったものだなあと改めて思いました。皆さん、お疲れ様でした。

次は忘年会でまた盛り上がり、新たな気分で新年を迎えましょう～！

地域とのつながり

ニシクボ食堂さんへ納品開始！

以前に、三鷹市役所で活動されていたC-caféのスタッフさんが、新しいお店をオープンしました。名前は「ニシクボ食堂」、場所は三鷹駅の北口(井の頭通り越えてすぐ)です。はばたけの頃から、クッキー販売や調理ボランティアの活動でお世話になっていましたが、この新しいお店にも工房時の製品を納品することになりました。製菓部ではクッキー・ケーキを以前と同様に置いてもらっています。

今回は、製麺部のうどん麺もお届け！ この麺は「武蔵野うどん」としてメニューになっています。おもむく食堂のうどんとはまた違った作り方と味わいになっていますので、ぜひご賞味下さい！

製品の販売を通して地域とつながることは、工房時の活動においてとても大きな意味を持ちます。ただ販売するだけではなく、お買い上げ頂いた方の笑顔がみたい、また食べにきていただきたい...そんな風に地域のみなさんと交流しながら、長くおつきあいをしていければと思っています。



～ ニシクボ食堂スタッフ キクチさん～

よろしく願います！

～ 第一生命労働組合さまより ご寄付をいただきました！ ～



毎年、施設備品の寄付をいただいている第一生命労働組合さまから、今年はパソコン・ラベルプリンタ・空気清浄機の計3点をご寄付いただきました。これら備品は施設の活動のなかで有効に活用させていただきます。

どうもありがとうございました！ (文責：中野)

サポートネットあすは & あすは Kids



皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

ヘルパー派遣事業所(移動支援・同行援護・居宅介護・行動援護)「サポートネットあすは」をNPO法人「サポートネット武蔵野」から引き継ぐ形で立ち上げてから6年、放課後等デイサービス(旧児童デイサービス)あすは Kids を開所してから早3年が経とうとしています。月日の過ぎる早さに今更ながら驚くと同時に、充実した毎日を送ることが出来るのも「サポートネットあすは」の利用者さん、「あすは Kids」の子供たちのおかげだなあ、としみじみ感じています。また利用者さん、子供たちと同じ時間を過ごす中で、職員も成長させてもらっているのだと思います。

今回は「あすは Kids」の活動の一部を紹介しようと思います。あすは Kids では、絵を描いたり、工作をしたり、公園で走り回って遊んだり、喫茶店でお茶をしたり、近隣のイベントに参加したり・・・またカラオケで歌をうたったりといったこともしています。一番盛り上がるのは、やはり「AKB48」、ヘビーローテーションなんかでは、みんなで大合唱になっています。アイドルに関しては職員より詳しい子供たちもいます。子供たちのおかげで？職員のアイドルに関する知識も深まってきました(笑)。

あすは Kids の活動の中で、大きな柱にしているもののなかに「買い物」があります。一人ひとりがお金の入った財布を持って、自分の食べたいおやつを買いに行く取り組みです。私たちの生活を振り返ってみても、買い物をしない日はほとんどないと思います。何気なく行っていますが、子供たちと一緒に買い物をしていると、その中には様々な内容が含まれていることに気が付かされます。「自分の欲しいもの、必要なものを選ぶ」「値段を確かめ、所持金で買えるかを考える」「店員さんにお金を支払う」「商品とお釣りを受け取る」「お釣りを財布に入れる」といったことがあります。店員さんと話す場面もあり、コミュニケーションの力も必要になります。

これまで買い物の取り組みを続けてきた中で、子供たちの成長を感じさせられることが何度もありました。黙ってお金を払っていた子が「これください」と言ったことがありました。またいつもレジで、財布の中に入っているお金を全て出していた子が、店員さんに「128円です」と言われ、じっと考えて100円玉1枚と10円玉3枚出せたこともありました！隣で見守りながら、その場面を見た時は本当にうれしかったです。

いつも気をつけていることは、買い物の練習にならないようにすることです。「好きなおやつを買いたい、欲しいものを買いたい」といった気持ちを子供たちが持ち、楽しく主体的に取り組むことが出来ればと考えています。

管理者 立野信行



思い出…スイカ割り (あすは Kids 利用者さんの作品)

アクティビティセンター はばたけ

昨年、障害者自立支援法の「生活介護事業」へと移行したはばたけは、利用者や職員の顔ぶれも変わり、新たな始動の年となりました。軸となったグループ活動では4つのグループそれぞれが、利用者の皆さんのやってみいたいことやできることを活かした取り組みを行い、写真のように、みなさんのよい表情があふれた1年となりました。



調理活動…回数を重ねて上達しました!

しかし、グループでの活動を利用者ひとりひとりの支援にどう活かしていくか、利用者のどんな姿を引き出したいのか、という視点がなければ、活動は形骸化していきます。また、「その人らしさ」は何気ない日常に隠れているものです。それをきちんとキャッチする力、それを強みに変えていく視点を、私たちはもっと身につけていかなくてはなりません。現在のはばたけには、物事の意味理解や言語表現、コミュニケーションの難しい知的障がいの方々、心に病を抱え精神的な支えの必要な方や、身体機能が不自由で介助が必要な方など様々な障がいのある方たちが通われています。困難さに対応することだけが支援ではなく、その人の光る部分にどれだけ焦点を合わせられるかが、私たち支援者の力の見せどころであり、それこそが、はばたけらしさにつながるのではないかと考えています。

先日のこと...大きな声を出している利用者さんといったAさん。困った顔をして、職員に「どうして大きな声を出すんだろうね?」と尋ねました。「言葉で話すのが難しいから、“わかってよ”っていう気持ちが大きくなって声が出るんじゃないかな」と職員が答えると、「私もうまく言えない時ある。わかるよ。同じかもね」というAさん。

“同じかもね”と捉えられるAさんってすごいな...と感じた一場面でした。...またある時、落ち込んで泣いている利用者さんを気にするBさん。「大丈夫だよって言ってあげたら安心するよ」と職員が教えると、「さん大丈夫、大丈夫」と泣いて震える肩にそっと手を添えて呼びかけ始めました。「わたし辛かったの。ありがとう」との答えに、「辛い」の意味理解は難しかったのですが、ありがとうの言葉の意味がわかったBさんは、ずっと手を添えていました。その利用者さんにも思いが伝わり、気持ちを切り替え笑顔が戻り、Bさんも笑顔になりました。



旅行にて...みんなでかんぱい!



さあ1年のはじまりだ!

きっと、こんな場面のひとつひとつが、いくつもの化学反応を起こし、新しい「はばたけ」という大きなかたまりになっていくのだらうと思います。こんな場面にていねいに寄り添える1年にしていき、はばたけを大きくしていきたいと思います。今年もよろしくお願いいいたします。

(管理者 入倉暁子)

おおぞら会後援会ニュース

新年、あけましておめでとうございます。皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
 さて、おおぞら会後援会では、大きな活動として昨年9月にバザーを開催いたしました。すでにお礼状等にてご報告をさせていただきましたが、改めて機関紙上でお伝えいたします。はばただ大バザールとして行ってきたバザーも29回を数え、今回は「おおぞら会大バザール」と銘打ちました。後援会と法人全体で取り組もうということで活動しましたが、会場が変更になったり、当日はあいにくの大雨であったりと困難な状況がありました。そんな中、利用者ご家族を中心として多くの方のご協力をいただき収益を得られたこと。悪天候の中でも地域の方々がご来場下さったことに、改めて御礼を申し上げますとともに、後援会の存在がおおぞら会の事業を後押ししているのだと感じました。後援会員一人一人の力が集まれば、法人にとってとても大きな支えとなります。今後とも、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



社会福祉法人おおぞら会後援会
 会長 吉野 壽夫

第29回おおぞら会大バザール 収支報告

支 出		収 入	
備品等経費	135,610	バザー売上	390,701
		模擬店売上	29,120
利益	435,711	寄付金	151,500
計	571,321	計	571,321

ご来場いただいた皆様、要員で奮闘いただいた皆様 荒天の中 ありがとうございました!

後援会新規ご入会・ご更新(敬称略)

個人15名、法人1社からご入会・ご更新をいただきました。
 ありがとうございました。

後援会へ寄附(敬称略)

個人6名の方からご寄付をいただきました。ありがとうございました。

法人・各事業所へ寄附(敬称略)

個人19名、団体1社よりご寄付をいただきました。ありがとうございました。

千人会へ寄附(敬称略)

個人3名の方からご寄付をいただきました。ありがとうございました。

(以上、8/18~11/22 集約分)

皆様 ありがとうございました。後援会費、ご寄付は大切に活用させていただきます。

* 後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします *

年会費 1口 個人... 2000円 団体... 10000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座 00160-0-39163 口座名義 社会福祉法人おおぞら会後援会

information



いっしょに働きませんか？



おおぞら会では、法人内の施設で働く職員を募集しています。

アクティビティセンター-はばたけ

・障がい者支援員(施設での日中活動支援) 正規職員1名
契約職員1名(フルタイム)

工房 時

・調理員(障がい者・高齢者施設の昼食等の調理) 契約職員1名(フルタイム)

サポートネットあすは

・事務員(ガイドヘルプのコーディネイト、請求事務等) 契約職員1名(フルタイム)

あすはKids

・障がい児童支援員(小～高校生の放課後活動支援) 契約職員1名(パートタイム)

実務経験者・有資格者(社会福祉士・ガイドヘルパー養成研修修了者・ヘルパー2級など) 歓迎
そのほか、詳しい求人条件等のお問い合わせは こちらまで...

〈 お問い合わせ 〉

TEL : 0422 30 5571 (法人本部:三浦)

社会福祉法人おおぞら会

- ・ **アクティビティセンター-はばたけ** (生活介護事業) 三鷹市野崎 3-17-9 tel 0422-32-3234
- ・ **工房 時** (就労移行事業・就労継続B型) 三鷹市野崎 2-6-41 tel 0422-30-5571
- ・ **野ざきの家** (小規模多機能型居宅介護事業) 三鷹市野崎 2-6-41 tel 0422-30-5575
- ・ **サポートネットあすは** (移動支援[居宅介護]事業) 武蔵野市八幡町 1-6-1 tel 0422-36-5151
- ・ **あすは Kids** (放課後等デイサービス) 武蔵野市八幡町 1-6-1 tel 0422-36-5151
- ・ **ショートステイさくら** (短期入所事業) 三鷹市井の頭 4-22-6 tel 0422-32-3234
- ・ **つなぐなかまの家・さくらハイツ** (グループホーム・ケアホーム事業)

先日、旅先でローカル線に乗った。目の前が海というロケーションの、ある小さな駅に行ってみたのだが、電車の本数も少なく、いざ乗り込んで単線のため通過待ち...長いところでは15分待ちという長さ、何度も時計を見ては「いつ着くのか...」とじれったい気持ちになった。でも地元の乗客は焦る様子もなく、ゆったりと時間を過ごしているのである。

そしてようやくたどり着いた絶景の駅には、地元の人が植えたたくさんのお花がやさしく揺れていた。花と海と空だけの風景を眺めながら次の電車まで約1時間...。スーパーのレジですら、空いている列にすかさず並んだりしている私は、いったい何を急いでいるんだろう?と日頃の自分が滑稽に思え、ゆっくり深呼吸をしてみた。 (いりくらあきこ)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21 (頒価 50円)

企画・編集 社会福祉法人おおぞら会 編集責任者:入倉暁子